

事務事業チェックシート

事務事業No 51 事業名 電子計算機安全対策事業

[長期総合計画]

分野別目標	5	その他
政策	3	業務改革の推進
施策	3	質の高い行政サービスの提供
取組方針	1	質の高い行政サービスの提供

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市情報化推進方針	
担当課・担当課長 (Tel)	情報システム課	岡野 哲也 (435-1023)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		情報システム管理費	
	大・小事業		情報システム管理事業	
事項		電子計算機安全対策事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か) 災害発生時に、迅速に電子計算組織を復旧させる。	事業内容 電子計算組織で使用する重要磁気記録データを、和歌山市で大災害が発生しても同時に被災する可能性が少ない遠隔地の専用施設に保管する。				
	実施内容	平成26年度 重要磁気記録を遠隔地に保管	平成27年度 重要磁気記録を遠隔地に保管	平成28年度 重要磁気記録を遠隔地に保管	平成29年度 重要磁気記録を遠隔地に保管 マイナンバーを含む重要磁気記録データの保管に対応	平成30年度 重要磁気記録を遠隔地に保管 マイナンバーを含む重要磁気記録データの保管に対応

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,083	946	1,083	922	1,083	934	2,130		2,130	
伸び率 (%)	-	-	0.0%	▲2.5%	0.0%	1.3%	96.7%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	3,125	3,067	3,125	3,627	3,125	3,636	3,616	3,616	
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	3,125	3,067	3,125	3,627	3,125	3,636	3,616	3,616	3,616	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	1,083	946	1,083	922	1,083	934	2,130		2,130	
所要人数 (人)	正規職員	0.41	0.41	0.41	0.48	0.41	0.46	0.45	0.45	
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	磁気テープ管理委託料 2,055千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標 バックアップ回数		51	49	50	50	
		51	49	50		
	達成度 (%)					
成果指標	目標値					
	実績値					
	達成度 (%)					
	目標値					
	実績値					
	達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	重要磁気記録データの遠隔地保管は、災害発生時における電子計算機組織の迅速な復旧という目的と運用経費の抑制の両面において最もバランスの取れた方法であると考えます。
見直し・改善内容	情報システム最適化計画に沿った業務システム更改にあわせて、遠隔地保管すべき対象の見直しを行う。